

分け合う心でおいしいみらい



株式会社バローホールディングスと町および町社会福祉協議会との協働で、バローグループ店舗にフードドライブボストを設置することとなり、11月27日(木)にバロー養老店にて設置式が行われました。この取り組みは、各家庭において消費しきれない食品(常温保存ができる未開封のもの、1カ月以上賞味期限があるものなど)を寄附いただき、地域で食品を必要としている団体や人へと届けるものです。

川地憲元町長は「あいさつの中で「フードドライブの実施により、食料の支援が必要な家庭などにおける問題解消のみならず、分け合う心の醸成により、地域の関係づくりや共助の土台づくりに繋がることと期待しています」と話しました。

お客さまの安心・安全のために



他の模範となる優良な食品衛生施設であることが認められ、食品衛生事業功労者厚生労働大臣表彰(食品衛生優良施設)を受賞した株式会社水野精肉本店(泉町)の水野成人代表取締役が11月27日(木)に川地憲元町長を訪問し、その報告をしました。

水野さんが「創業から100年を迎えるにあたり、このように表彰していただき、とても嬉しいです。お客さまの安心・安全のため、食品を扱う店として清潔にするのは当たり前と考え、これまで営業してきました。これから先も気を引き締めていきたいです」と話すと、川地町長は「これからも他の模範となっていただき、老舗ののれんを末永く守ってください」と受賞をたたえました。

地域のつながりをみらいへ



11月15日(土)に養老町テレワーク施設YOROfficeにおいて、46COCOマルシェ実行委員会(Smile Forward Project・子育てシェアCOCO)が主催する46COCOマルシェ～SDGsでつながろう未来へ～が開催されました。このイベントは、岐阜県SDGs推進パートナー事業として開催され、地域の温かい交流を育む場所作りを推進し、養老町の豊かな自然の中で0歳から100歳まで参加して楽しめるイベントを目指しています。大人も子どもも一緒にになって、普段では味わうことのできない巨大手形アートやガラスへのお絵描きに夢中になり、親子に向けたプログラムや地域交流マルシェブースなどによって交流を深め、SDGsを楽しみながら学ぶことができるイベントになりました。

水害からまちと人を守る



長期にわたり金草川排水機場の操作員として従事し、河川管理施設の適正な運用・点検、継続的な維持管理・保守、緊急対応など職責を遂行してきた高木多吉さんに対し、木曽川上流河川事務所長から感謝状が贈られ、川地憲元町長にその報告をしました。

高木さんは「操作員として従事してから、町へ大きな被害を出ことなく今日を迎えられました。最近は異常気象といわれるよう、急な豪雨により水位が一気に増すなど油断できない場面が多くありますが、これからも町の安全を守るために力を尽くしたいです」と話すと、川地町長は「いつも災害を未然に防ぐため、危険な状況の中でも町民の安全のために作業していただきありがとうございます」と感謝を述べました。